

## 下校時刻一覧

登校時間は、8時5分から8時15分です。

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
2	月	★	★	○	○	○	○
4	水	★	★	★	★	★	★
5	木	13:40	13:40	13:40	13:40	14:40	14:40
6	金	14:30 雨天★	○	○	○	○	○
9	月	★	★	○	○	○	○
10	火	13:40	13:40	13:40	14:55	14:55	14:55
11	水	★	★	★	★	★	★
12	木	★	14:45 雨天★	○	○	○	○
13	金	★	○	○	○	○	○
16	月	★	★	○	○	○	○
17	火	★14:30	★	★	○	○	○
18	水	★	★	★	★	★	★
19	木	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40
20	金	★	○	○	○	○	○
24	火	★	★	★	○	○	○
25	水	★	★14:45	★	★	★	★
26	木	★	★	○	○	○	○
27	金	★	○	○	○	○	○
30	月	★	★	○	○	○	○

## 映画製作

連絡用のメールアドレスです。[ky-ekodaes@city.yokohama.jp](mailto:ky-ekodaes@city.yokohama.jp)

文化庁の支援事業として行われている映画作成の授業を6年生が行いました。映画監督でもあり、東京芸術大学の教授でもある諏訪敦彦さんが中心になり、ショートムービーの作り方を教えてくださいました。初めに、60年前に作られたフランス映画をみんなで鑑賞しました。男の子と風船の話です。意志を持った風船が、子どもと過ごす様子を描いた映画です。その映画をヒントに、子どもたちは、ボールを中心とした映画作りをしました。映画を作るにはコミュニケーションが大切であり、想像力が大切だということを実感することができたのではないかと思います。

子どもたちの作った作品は後日ご覧いただけるようにしたいと考えています。

通常の日程の日の下校時刻と、その下校時刻を表す印

	5校時	6校時
給食当番	14:05	14:50
掃除当番		★
キッズ会議出席	14:30	15:05

その週のお子様の当番については、学年や学級から配付されるプリントでご確認ください。

## 学校への連絡について

現在朝の欠席連絡については、①連絡帳 ②電話 ③メール と3つの方法がとられています。どの方法も、一長一短がありますが、現在感染予防の観点から、子どもを通じての連絡帳のやり取りは、控えています（兄弟関係は除きます）。ですので、欠席連絡は、電話か、メールをご使用いただければと思います。

なお、配付物や週末の荷物の持ち帰りについては、翌日、週明けにまとめて持ち帰るか、ご都合がつく場合は、保護者の方に取りに来ていただくのが良いと考えています。ご理解の上、ご協力いただければと思います。



# 学校だより 11月

[www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/ekoda/](http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/ekoda/)



令和2年10月30日

荇子田小学校

月	火	水	木	金	土	日
						1
2 朝会	3 文化の日	4	5 委員会 歯科検診4・5・6年	6 1年遠足 (こどもの国) 5年出前授業	7	8
9 読書週間	10 クラブ	11 避難訓練	12 2年遠足(ズーラシア) 1年出前授業	13 2年出前授業	14	15
16 児童朝会	17 カウンセラー来校 午後 1年遠足予備日	18 エコダキッズ会議	19 就学時健康診断	20 ハッピーバース ディ荇子田36	21	22
23 勤労感謝の日	24 集会 リーダー会議 6年生徒会説明会	25 2年遠足予備日	26 カウンセラー来校 午前	27 フレンドチーム	28	29
30 朝会						

## 12月の主な予定

12月2日(水) 分散授業参観1

12月7日(月) 分散授業参観4

12月3日(木) 分散授業参観2

12月8日(火) 分散授業参観5

12月4日(金) 分散授業参観3

12月28日(月) 冬季休業

## 分散授業参観

感染予防のため、通常の授業参観を実施できない状態です。これまで、ZOOMを利用してのリモート授業参観や運動会を通して、子どもたちの様子を見ていただきました。しかし、子どもたちの日常の学習の様子を見ていただき、クラスの雰囲気を感じていただきたいと考え、感染予防を踏まえつつ、分散した形で授業参観を実施します。お子様1人につき1時間、クラスごとに授業参観を実施します。1回の授業参観に参加できる方は、7名までとさせていただきます。11月8日(日)の12時から申し込みを開始します。希望日をwebで申し込んでください。また、参観は、児童1名について1回のみになります。大変申し訳ありませんが、先着順にさせていただきます。なお、URLは、後日メールで配信します。

# 運動会について

アンケート結果から

運動会には多くの保護者の方々にご参観いただきありがとうございます。今年度は、感染予防の観点から、例年と異なった形での実施となりました。今回は、運動会終了後に保護者の皆様にご意見を伺いました。実施したことや今回の実施上計画したことについて、いくつかお聞きしました。

運動会の実施については、「先生方はじめ、PTAの方々には、開催を決断してくださり、大変感謝しております。」というご意見をはじめ、様々なご意見をいただきました。実施したことについて、ご回答いただいた方々から評価いただくことができました。

今回は感染予防策として、低・中・高と3つのブロックに分けて参観していただきました。「欲を言えば、全学年見たかったです。でも、ブロックでわけたからこそ、ある程度密にならずにゆっくり見れたのもあるので納得はしています。」というご意見など、9割以上の方からよかったという評価をいただきました。

ブロックごとに限定したことで、本校では、子どもたちの活動の様子をより多くの方に見ていただきたいと考えました。そこで、ご家庭ごとに参観していただく人数を限定せず、事前の申し込みとさせていただきます。「やはり、ビデオを撮る時はどうしても密になってしまいました。父母で観覧出来てよかったのですが、その辺りとの兼ね合いが難しいと思いました。」というご意見にあるように、多くの方に参観いただくことと密集を避けることを両立させることの難しさを感じました。

午前中開催ですが、9割近くが評価してくださいました。「お弁当なしの午前中みの開催ということで、気軽な気持ちで参加できました。」というご意見もいただきました。お弁当作りと天候の関係は各ご家庭を悩ませているんだと考えさせられました。

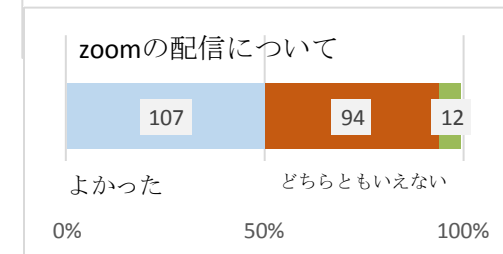
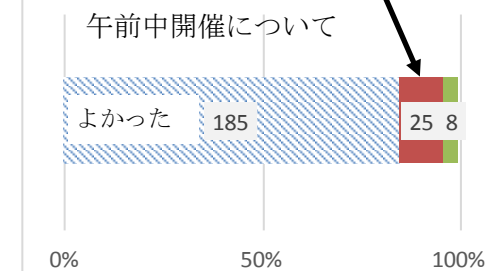
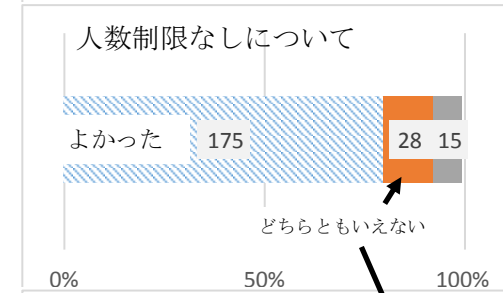
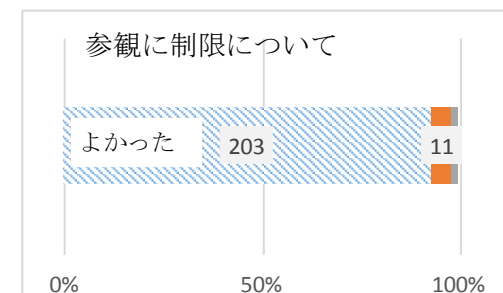
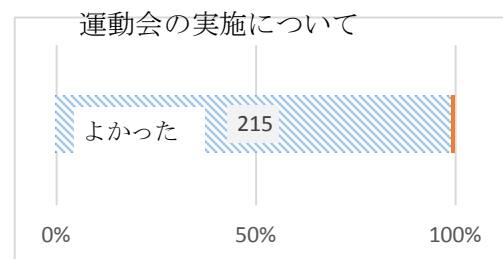
立ち見についてですが、場所取りをしなくてよいとのご意見をいただきました。お弁当作りも、場所取りも、いろいろと運動会開催に伴ってご苦勞をおかしているのだと感じました。今後は、これらの点も考慮し、計画を立てていく必要を感じています。

zoomに関してですが、「zoom配信の姿勢は、大変有り難かったです。運用方法は、改善すべきかと思えます。」というご意見の通りで、まだまだ改善すべき点が多くあると実施して感じました。機材の準備なども進めていますが、今後の配信について、検討していきたいと思えます。何か、配信についてのよいお考えがありましたら、教えていただければと思います。

様々なご意見をいただきました。今後の参考とさせていただきます。



学校アンケートQR



## 学校評価アンケート

本校の教育活動全般に関するアンケートを実施いたします。11月1日～9日まで下記のURLもしくは、QRコードを利用してアンケートサイトにアクセスしてください。開始日にメールでも送らせていただきます。

パソコン : <https://www.e-shinsei.city.yokohama.lg.jp/yokohama/uketsuke/dform.do?id=1603677282583>

スマートフォン : <https://www.e-shinsei.city.yokohama.lg.jp/yokohama/uketsuke/sform.do?id=1603677282583>

## 本を読むのか、読まないのか。

読書の大切さは、様々な場面で語られています。本を読みましようという、声もよく聞かれます。ここで、考えさせられるのは、読書が本当に大切なのかということです。そして、なぜ、読書という行為が敬遠されるようになってきているのかということです。

多くの場面で、多くの人が読書は大切だと強調しています。学校でも、春と秋に読書週間を設定し、読書をするを子どもたちに勧めています。しかし、読書が本当に広がっているのかということを見ると、それほど広がりをを見せているとは言えません。例えば、休み時間に子どもたちが読書をするのかということ、多くの子どもたちにとって、様々な選択肢の一つに過ぎないです。外で遊ぶほうが楽しいと思う子は多くいます。教室で、友達とおしゃべりをするのが楽しいという子もいます。休み時間における読書は、あくまでも選択肢の一つにすぎません。

そこで、広がってきたのが、朝の読書タイムの設定ですとか、授業時間における読書ということになります。この時間は、読書は選択肢ではなく、「必ず」読書をしなければならない時間になります。そして、朝の読書タイムには、図書ボランティアの方々が、本の読み聞かせをしてくださっています。いずれも、読書を習慣化してほしいという大人たちの願いから広がってきたことです。

読書の効能は様々言われています。活字になれていくことの大切さ。本を読むという行為が作り出す集中力。読書は、自分が進んで行わなければ進めることができないメディアです。それだけに、自分の意思で読み進めるという行為自体も、推奨される理由なのでしょう。また、言語理解の力を高めるためにも、大切なものです。感性を豊かにするという意味もあるかもしれません。

しかし、子どもたちにとって、これらの理由は読書を進める上で大切なことではないのだと思います。子どもにとっての読書は、大きく分けると二つの意味を持っていると思います。一つは、学ぶための読書で

す。資料として、参考になるものを読んでいく。例えば、図鑑や百科事典的なものがそれに当たります。もう一つは、楽しみとしての読書です。ハリーポッターの新作が出ると、書店に行列ができたのは、楽しみとしての読書の例だといえるでしょう。今では、「鬼滅の刃」のノベライズ本などが、子どもたちの関心の的になっています。

学校が進めることができる読書は、学習としての読書であることは言うまでもありません。本を読んで調べることにより、図表の大切さやグラフの読み取りなども進められていきます。一方、楽しみとしての読書を進めることは難しいと感じています。今子どもたちの周辺には多くのメディアが存在しています。テレビだけがライバルだった時代とは異なります。YouTubeも、ネットゲームも、オンデマンドのビデオも、SNSも、子どもたちに楽しいと囁きかけています。そう考えると、読書が子どもたちの一番の楽しみになることは、なかなかないような気がしてきます。

それでも、読書の機会を作っていくことが大切であることに変わりはありません。子どもたちに少しでも多くの読書体験をさせることしか、方法はないかもしれません。人類は、書を通して、文明や文化を伝えてきました。古典的かもしれませんが、書を通して、これからも伝えることができるものがあるような気がします。子どもたちが、本を読むことを楽しみだと思えることができること。様々なメディアの一つとして、本を認識できるようにすることができればと考えています。

今年度、荇子田自治会の皆様に本を寄贈していただきました。寄贈していただいた本は、いずれも、子どもたちが手に取って読んでみたいと思う本を選んでいただきました。これが、これからの荇子田の子どもたちの本への関心を高めてくれるのではないかと期待しています。また、そういう機会を与えていただいた荇子田自治会の皆様に感謝したいと思います。ありがとうございました。

(青木 勇)